

## JHF理事会議事録

日 時： 2008年3月12日(水) 13:00~16:30

場 所： アサギリ高原パラグライダースクール会議室（静岡県富士宮市根原字宝山282-1）

### 6. 議長・議事録作成及び署名人指名

議長： 下村孝一 議事録署名人： 菊池守男 城 涼一

### 6. 定足数確認

出席者：出席【理事】荒井健雄 内田孝也 大沢 豊 菊池守男  
下村孝一 城 涼一 松田保子

【監事】市川 孝

欠席 (理事) 狩野智子 (監事) 對馬和也  
(出席理事7名。今理事会は定足数を満たし成立した)

### 4. 審議事項

#### 第4-1号議案 2008年度予算案について

2月臨時理事会時に配布された08年予算原案から修正があり、さらに今回事務局で資料化時にアジア選手権積立金と次期繰越金の金額変更が加えられたことが説明された。

07年予算の実績進捗状況を精査していた菊池副会長から、06年比較で07年の収入予算が高めに設定されていたこと、07年のフライヤー登録並びに技能証発行実績から見て08年予算では対前年93.5%の収入予算とするとした以前の理事会審議を見直し、もっと低く見積るべきという提案があった。06年の決算実績が資料にならため、次回までに準備することとなった。07年のフライヤー登録の対前年予測は89%になる見通しで、08年の収入予算は85%で見ることにする。これにより減額となるため、支出予算の予備費はゼロとなる見通しが下村常任理事より説明され、JHF運営の為の財源の考え方として、年間の人員費総額を180万円ほど減額とする提案があった。このことは即ち現在空席となっている事務局長職を08年度通年を通して採用しないということを意味するものとして、理事各位の認識の確認がされた。

これらの大枠の確認の後、個別の支出予算項目について審議し、1月理事会の審議でパラグライディングの大会予算に国体費用が二重に計上されていたのを修正すること、都道府県連盟事業費が07年より減額とされているのを07年同額とすることが決められた。これらの審議により予算案資料を下村常任理事が修正し、細部の確認と共に継続審議とすることとした。

継続審議のため4月臨時理事会の開催が可決された。

賛成： 荒井、内田、大沢、菊池、下村、城、松田

#### 第4-2号議案 2008年常設委員の選任

JHF事務局からの公募の結果、締切までに配布資料のとおりの応募があった。

定員5名のところ一名オーバーとなった補助動力委員会を除き、5つの委員会について一括採決を取った。補助動力委員会については、担当理事の菊池副会長から現任の委員長と連絡をとり、候補者調整のうえで文書理事会にかけるものとした。

採決の結果、【賛成5 反対1棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、内田、大沢、菊池、松田

反対： 城

#### 第4－3号議案 2007年度資金正会員還元策について

07年度予算は6月通常総会において、約550万円もの「予備費」を認めてもらい、支出予算項目での出費は極力節減してきた。1月定例理事会から事務局で予算消化推移をまとめ報告しているが、予備費からの支出も抑制した結果、07年決算では相応の資金が残るものと推測される。人的パワーの問題により、松田常任理事に業務が集中して発行が遅れているJHFレポートの資金を考慮してもまだ残るなら、07年は過去の総会で何度も約束してきた正会員へのフライヤー会費の還元を実施すべきであるという提案。

07年の実績を精査した配布資料について、菊池福会長から説明があり、誤差を配慮しても116万円は流用可能と報告され、すでに支払済みのダブルカウントの指摘から最終的に235万円が検討の対象金額となった。07年予算より実際はフライヤー登録や技能証発行の収入が約500万円前後少ないとみられ、この金額程度が08年への次期繰越金の実体となる。2月臨時理事会で話題になったことのため、荒井理事から栃木県連盟には体験会実施の補助金として支給すると説明済みという報告があったが、他の理事からも実体のある事業への補助金とすべきという意見がでた。これに対し、内田会長から、予備費とは何に使っても良いと総会から渡されたお金ではないはず、総会で認められた支出予算項目に上乗せするのであれば問題はないと思うが、事前にアナウンスもなく特定の事業の補助に支出するのはよろしくないという指摘があった。これらにより、都道府県連盟事業費371万円予算に94万円を上乗せし、その配分方法についてはフライヤー会員数比ではなく、各県2万円の定額支給とすることを条件に07年決算で同額の支出について採決。

採決の結果、【賛成6 反対0 異議0】で可決された。

賛成： 荒井、内田、大沢、菊池、城、松田

#### 第4－4号議案 アキュラシー審判員規程について

2月臨時理事会で当初案の説明があり、その後文書理事会の開催が滞ったため、成案につき本理事会で採決するもの。理事会決定が遅れたため、現在開催中のJHF教員検定員の研修検定会のプログラムからは外さざるを得なかった。4種の資格に細分し、これまでのジャッジセミナーの参加者は終了過程に応じて再度資格認定される。

採決の結果、【賛成6 反対0 異議0】で可決された。

賛成： 荒井、内田、大沢、菊池、下村、松田

### 5. 協議事項

#### 5－1 パラグライディング J2リーグの新設検討

パラグライディング競技委員会から、具体的な提案がまだ来ていないので、考え方について協議。F1リーグという自主運営の、競技フライトのエントリーレベルの参加者を対象とした大会がなくなったのは事実。同リーグが下火になった理由と反省に基づいて、JHFの公式大会を作る方向で意見は一致。資金については、2月臨時理事会で予算額を設定済み。誰が運営できるのか人材の問題を認識した。

#### 5－2 リアルパラワールド（木島平）の対応

ブースの設営を予定。JHFからは、松田常任理事と東野職員の派遣が決まっている。他に理事の手伝いを募集。内田会長は参加予定、大澤理事が前後の競技会日程のご苦労があるが、テントのほか、机椅子などの運び込みなど協力する。

### 5－3 神奈川県連からの援助申請

昨年7月理事会で審議し、回答を作成した同県連申請書とまったく同一の文面で、日付のみ変更されているもの。フライヤー会費のうち、県連への配分金額をとる古い約束が、フライヤー会員の減少一途の現状では事務固定費に消え、不履行とならざるを得ない現状について再認識。神奈川県連盟の真意がわかるまで、回答は作らないと決定。

### 5－4 その他

6月通常総会に向けての準備の為、4月23日（水）に臨時理事会の開催を決定。

5月12日予定の定例理事会は、上記理事会で準備完了すれば、繰上げ開催として扱う。

## 6. 報告事項

それぞれ別紙のとおり報告された。

6－1 1月締めまでの2007年予算消化状況

6－2 現金・預金・郵便振替残高明細

6－3 フライヤー会員登録・技能証発行実績

6－4 その他

この議事録が事実と相違ないことを確認し署名捺印する。

議長

---

(下村 孝一)

署名人

---

(菊池 守男)

署名人

---

(城 涼一)